

腎泌尿器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は（委員会名）倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》**ダ・ヴィンチ Si 手術システムを用いた、ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術の有用性と安全性の検討**

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・腎泌尿器外科 教授 松田 公志

《研究の目的》ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術の有用性と安全性の検討するため

《研究期間》倫理委員会承認日～2025年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

浸潤性膀胱癌の患者さんで、研究期間中にロボット支援下腹腔鏡下膀胱全摘の手術を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 血液学的検査：ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数
- 2) 血液生化学的検査：ALP、総ビリルビン、アルブミン、AST、ALT、総蛋白、LDH、クレアチニン、BUN、Na、K、Cl、CRP
- 3) 手術時間、出血量
- 4) 合併症

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 腎泌尿器外科 担当医師 病院講師 杉 素彦

大阪府枚方市新町 2-3-1

電話 072-804-0101（代表） FAX 072-804-2089